



七里長浜港だより

港報

平成29年3月

Vol.19



飼料用米をラフタクレーン車で貨物船（真生丸499トン）へ積み込み

飼料用米を初輸送！！

平成28年11月、津軽地域の生産者から飼料用米を集荷し、試験的な取り組みとして七里長浜港から八戸港へ向けて初めて海上輸送が実施されました。

七里長浜港利用促進協議会では、七里長浜港の更なる利用促進を図る上でも今後の動向に注目し、新たな物流の展開に期待していきたいと考えます。



七里長浜港利用促進協議会

七里長浜港から八戸港へ 津軽地域の飼料用米を初輸送

平成28年11月7日、七里長浜港から津軽地域の飼料用米を積んだ貨物船「真生丸」（499トン）が八戸港に向けて出港しました。

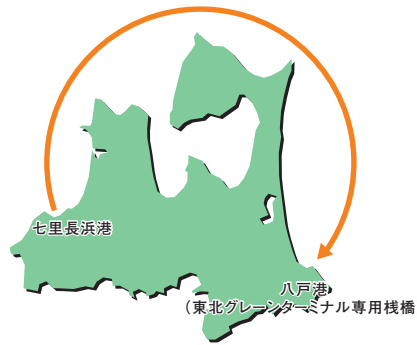
これは平成27年11月に、青森地域飼料用米生産利用推進協議会の佐藤副会長が七里長浜港を視察。その後の意見交換会で、津軽地域で生産された飼料用米を内航船で海上輸送する物流構想が提案され、今回、試験的に実施されたものです。

10月下旬、津軽地域の生産者より飼料用米を集荷し、同港の県営上屋に保管。当初計画より集荷量は少なかったものの、509トンの飼料用米を確保できました。

当日は、飼料用米の生産者、県や周辺自治体の関係者らが見守るなか、午前8時半ごろから作業を開始。フレコンバックに詰められた飼料用米を県営上屋からトラックで船の近くまで運び、クレーンで釣り上げたフレコンバックから空けて船に積み込み。七里長浜港から八戸港まで約15時間の海上輸送。八戸港では船から直接飼料用米を専用アンローダー（荷役機械）で吸い上げ、搬入コンベアで運びサイロへ貯蔵されました。

今回の試験的な海上輸送では、トラックを利用した陸路運送と一度に大量に運搬できる海上輸送を比較し、コスト面などさまざまな角度から検証することとしています。

また、同港における飼料用米の受け入れ態勢と積み込み手法も、大きくコストに影響していることから課題も多



く、港湾施設の整備状況なども求められています。

当協議会では、同港の利用促進を図るうえでも新たな物流貨物の可能性を探り、津軽地域の活性化に寄与できるよう関係機関と連携しながら港湾の利活用促進に努めていくこととしています。

陸・海・空自衛隊2年連続集結 海上自衛艦「YDT02」入港

平成28年7月2日・3日、七里長浜港に海上自衛隊大湊地方隊所属の水中処分母船「YDT02」が艦艇広報活動のため入港（海上自衛艦の入港は6年連続）し、一般公開されました。水中処分母船は、水中処分隊が行う水中処分作業及び潜水作業の支援船。船内では、設備やダイバーの任務の様子が紹介されました。

2日、同港で行われた入港歓迎セレモニーでは、鯨ヶ沢こども園の園児によるお遊戯や蒼海海鳴り太鼓保存会による太鼓演奏が披露されました。合同催事として初めて行われた海上自衛隊大湊音楽隊の演奏会は200名を超える町民らが鑑賞したほか、陸上自衛隊第39普通科連隊第1中隊（弘前駐屯地）による装備品の展示、青森地方協力本部では、クイズ形式による記念品の贈呈や自衛官の制服を着用しての記念撮影も行われました。

翌3日には、航空自衛隊第3航空団（三沢基地）も加わり、対空ミサイルシステム等の装備品も展示されるなど、2年連続で陸・海・空の自衛隊が一堂に会した会場には、2日間で約1,100人の家族連れなどが訪れていました。

今後も船舶寄港促進活動の実施などPR活動を充実させ、港の利用促進に繋げていくこととしています。



七里長浜港利用促進協議会視察研修！！

七里長浜港利用促進協議会では、平成28年11月24日から25日の2日間、七里長浜港の更なる利用促進を図るため、八戸市の東北グレーンターミナル株式会社と八戸鉱山株式会社を視察研修しました。

今回は、七里長浜港にかかわる新たな物流貨物の可能性と主要貨物である石灰石の採掘状況等を把握することが目的で事務局を含む13名が参加しました。

24日は、八戸港に隣接する東北グレーンターミナル㈱を視察。会社概要の説明を受けた後、自社専用棧橋に停泊中のパナマ船籍のばら積み穀物船(3万トン)を見学。アメリカ産トウモロコシ約4万トンを専用大型アンローダーで吸い上げし、搬入コンベアにより直接自社サイロへ運び込む作業や施設内のサイロ・中央指令室・発電施設等も見学しました。

意見交換では、同月7日、七里長浜港から八戸港へ飼料用米を試験的に海上輸送した経緯等に触れ、七里長浜港は、津軽地域の農業振興に寄与できる港としながらも、継続的なことを考えた場合、インフラの整備や人的コスト面などの課題があること。また、帰り荷として飼料用米を積み込めないか検討することも課題解決のポイントの一つに挙げられました。

翌25日は、七里長浜港に石灰石を移入している八戸鉱山㈱。採掘現場は全国唯一、海面より低い地中を採掘している露天掘鉱山で、すり鉢状に掘り進められた最深部は、海拔約-175mとなり、八戸キャニオンとも呼ばれています。これまで約2億トンを生産していますが、現在も約8億トンが埋蔵され、今後約120年生産が可能です。採掘された石灰石は、地下トンネル内のベルトコンベアにより自社埠頭まで約10kmを55分で運搬しています。

七里長浜港へ移入される石灰石は、北海道上磯産、尻屋産と八戸鉱山産のものが主ですが、そのうち約1割にあたる12,570トン(28年度)が八戸鉱山㈱から移入されています。



佐藤社長と意見交換



東北グレーンターミナル専用棧橋



三上次長から鉱山の概要説明



採掘現場(八戸キャニオン)

八戸鉱山㈱の石灰石は、品質がよく需要も多いため24時間稼働させ、供給に努めているそうです。

当協議会としては、今後の利用促進を図るうえでも新たな物流ルートや物流品目の開拓・拡大に向けて積極的に視察研修を実施しながら調査・情報収集にも努めていくこととしています。

七里長浜港船舶寄港助成金制度

七里長浜港利用促進協議会では、七里長浜港への貨物船及び客船の寄港促進を積極的に図り、同港の振興に寄与するため、「七里長浜港船舶寄港助成金」を交付しています。

この助成金は、同港を利用する内外航貨物船及び客船を対象に、貨物の荷主や客船クルーズの旅行主催者に交付されるものです。また、七里長浜港を利用する貿易に対し、「七里長浜港貿易促進助成金」の交付もあります。

利用者の負担が軽減され、寄港促進の一助となるよう、今後も内容の充実を図って参ります。詳しくは、七里長浜港ホームページをご覧ください。当協議会事務局までお問い合わせください。



建設骨材の石灰石を荷揚げする貨物船

七里長浜港利用実績

■入港隻数（年度別）

（単位：隻）

船種	9年度～18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
貨物船	353	67	58	(3)56	(6)59	(4)65	(4)89	78	(1)94	90	86	1,095
客船	11											11
自衛艦	11					1	1	1	1	1	1	17
海上保安部	12	3	1	1	1	1	1	3	4	4	1	32
県水産試験場	7	5	2									14
調査船	13											13
練習船	2											2
帆船	1											1
プレジャーボート	10							3		2	2	17
その他	22	3							2			27
計（隻）	442	78	61	(3)57	(6)60	(4)67	(4)91	85	101	97	90	1,229

（ ）は木材取扱隻数

■取扱数量（年度別）

（単位：トン、人）

品目	9年度～18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
石灰石	83,812	44,172	47,166	39,650	30,700	69,240	117,100	124,130	131,337	106,942	83,665	877,914
砕砂	35,911		1,900	6,900	11,400		16,977					73,088
砕石	230,190				15,820		1,800				1,640	249,450
川砂	53,288							19,200	44,660	112,600	113,237	342,985
割石	16,254											16,254
石材	93,385	44,528	20,300	15,200	12,640	15,245	4,200	1,500				206,998
コンクリートブロック	8,567					3,100						11,667
鋼材	1,424											1,424
融雪剤	920											920
木材	0			5,509	10,900	7,503	6,583		1,600			32,095
風車部材	190			3,069		20	3,849		65			7,193
その他	1,273										509	1,782
計（トン）	525,214	88,700	69,366	70,328	81,460	95,108	150,509	144,830	177,662	219,542	199,051	1,821,770
客船（人）	3,430											3,430

※その他→H11：重機100t、コンクリートパイル120t / H18：座礁船鉄屑1,053t / H28：飼料用米509t

■入港トン数（年度別）

（単位：トン）

船種	9年度～18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
貨物船	232,311	51,575	31,671	53,731	43,310	48,218	71,792	47,883	55,401	78,793	53,176	767,861
客船	232,927											232,927
自衛艦	6,830					200	980	980	980	300	300	10,570
海上保安部	5,827	772	362	362	335	362	362	1,086	1,810	1,448	362	13,088
県水産試験場	621	1,040	416									2,077
調査船	5,372											5,372
練習船	6,546											6,546
帆船	114											114
プレジャーボート	11							3		2	2	18
その他	12,724	38							620			13,382
計	503,283	53,425	32,449	54,093	43,645	48,780	73,134	49,952	58,811	80,543	53,840	1,051,955

平成28年度七里長浜港利用促進協議会事業報告

◎会議

年月日	事業概要	場所
28.6.7	平成28年度 第1回幹事会	鰯ヶ沢町
6.29	平成28年度 役員会及び総会	弘前市

◎ポートセールス

年月日	事業概要	場所
29.2.8	商船三井客船(株)	東京都

◎調査・情報収集

年月日	事業概要	場所
28.5.26～27	平成28年度公益社団法人日本港湾協会定時総会	愛媛県松山市
8.23	建設資材等物流調査 〈株丸重組、(株)伊南工業、(株)奥津軽、(株)拓友工業〉	鰯ヶ沢町
8.25	建設資材等物流調査 〈(株)葛西商事、(株)丸重組〉	つがる市
10.11	建設資材等物流調査及び被災地復興状況調査 〈住若海運(株)、(株)丸重組、(株)伊南工業〉	鰯ヶ沢町
11.8	建設資材等物流調査（海上輸送の効率化） 〈住若海運(株)、宮津海陸運輸(株)〉	青森市
11.24～25	飼料用米物流構想及び建設資材物流状況に関する視察研修 〈東北グレンターミナル(株)、八戸鉱山(株)〉	八戸市
29.2.8～10	建設資材等物流調査 〈東京地区生コンクリート協同組合、千葉県庁、千葉県土砂事業協同組合連合会、千葉県木更津港湾事務所、日本砂利協会関東支部〉	東京都 千葉県

◎寄港促進活動

年月日	事業概要	場所
28.7.2～3	海上自衛隊水中処分母船「YDT02」入港（歓迎セレモニー等）	七里長浜港
通年	船舶寄港助成金支給	

構成団体一覧表

青森県	西目屋村	(一社)青森県建設業協会
弘前市	藤崎町	日本通運(株)青森支店
鰯ヶ沢町	大鰐町	青森通運(株)
黒石市	田舎館村	(株)吉田産業五所川原支店
五所川原市	板柳町	(株)角弘
つがる市	中泊町	(株)青工
平川市	鶴田町	太平洋日扇(株)
深浦町		(株)青南商事
弘前商工会議所		(株)丸重組
黒石商工会議所		(株)つるたカイハツ生コン
五所川原商工会議所		青森県森林組合連合会
鰯ヶ沢町商工会		八戸鉱山(株)
つがる市商工会		(株)丸勝
(株)青森銀行		津軽採石協同組合
(株)みちのく銀行		マルイチ工業(株)
青い森信用金庫		(株)伊南工業

七里長浜港利用促進協議会

〈お問い合わせ〉
 〒030-8570 青森市長島1-1-1
 青森県土整備部港湾空港課
 TEL 017-734-9676 FAX 017-734-8194
 〈事務局〉
 〒038-2792 青森県西津軽郡鰯ヶ沢町大字本町209-2
 鰯ヶ沢町政策推進課
 TEL 0173-72-2111 FAX 0173-72-2374
 七里長浜港ホームページ <http://www.shichirikou.com>

〈港湾施設使用に関するお問い合わせ〉
 〒037-0046 青森県五所川原市宇栄町10
 西北地域県民局地域整備部 用地課
 TEL 0173-34-2111 FAX 0173-35-9114